

電力中央研究所狛江運営センター
所長 津守 浩一 様

陳 情 書

件 名

「電力中央研究所狛江運営センター様へ 近隣住民から
地域課題解決に向けたご協力をお願い」

に関する陳情書

令和 4 年 9 月 16 日

住 所 〒 201-0004
東京都狛江市岩戸北2-20-4

氏 名 喜多見駅狛江市側改札口復活を求める会会長
栄 通 り 商 店 街 会 長
栗山 健太郎

「電力中央研究所狛江運営センター様へ 近隣住民から地域課題解決に向けたご協力のお願い」 に関する陳情書

一 陳情要旨

1951年以降 科学技術研究を通じて電気事業と社会に貢献するため、狛江市において、社会の発展を支える電気事業を技術的に支援される御電力研究機関に感謝と敬意を申し上げます。今回は、地域における課題解決に貴研究機関におかれまして、是非ご協力を頂きたく、下記の通りお願いを申し上げます。どうぞ宜しくお検討頂けます様お願い申し上げます。

二 陳情事項

1 防災公園設置協力のお願い

狛江市岩戸北地区において、防災公園が存在せず、防災拠点空白地帯として大変危惧されている。いざという震災の際に、地域住民、および都心からの避難者の為に、貴研究所に狛江市に対し、土地の提供を頂き、『防災公園設置』へのご協力を頂きたく、ご検討を願いたい。

2 喜多見駅狛江市側改札口復活へのご協力のお願い

岩戸北地区を中心に、狛江市は『人口増加』傾向にある。コロナ感染症拡大の影響で、若干の人口増加速度は減退しているが、大型マンション建設、農地の宅地化はしばらく続くことが見込まれている。さらに、電力中央研究所角の、七差路交差点から喜多見駅世田谷区側改札口までの、車、自転車、人、交通量は、劇的に増加し、ここ数年『交通事故が絶えない危険な状況』が加速している。そのため、こうした交通事故を撲滅させるため、平成7年まで存在した『喜多見駅狛江市側改札口復活』を望む地域住民の声は年々大きくなっている。つきましては、貴研究所へ、もしも、大きな土地の売却がある場合は、狛江市に情報を提供頂き、岩戸北、喜多見駅周辺のまちづくりに対し、ご協力を頂きたい。

以上